

行楽シーズンにおける車上ねらいにご注意

千葉県内では、車上ねらいの被害が多く、令和6年中の認知件数は、**1,197件**（確定値）となっています。

被害に遭うと、現金などの経済的な損失はもちろんのこと、運転免許証や保険証などに記載された個人情報などが犯人の手に渡り、二次犯罪に利用されるかもしれません。

特に行楽シーズンは、海水浴場やキャンプ場など行楽地での被害にご注意ください。

- 短時間でも車から離れるときは、必ず鍵をかけましょう。
- 車内には、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 防犯機器を取り付けましょう。
- 防犯対策を実施している駐車場を選びましょう。

万一、被害に遭ってしまった場合には、警察に通報をお願いします。

また、キャッシュカードが盗まれた場合は、金融機関への連絡を忘れずに！



藤ヶ谷及び周辺地域で不審者情報！

藤ヶ谷や藤ヶ谷新田、大津ヶ丘、その他柏市内で警察に不審者情報が寄せられています。

不審者から子供を守るためには、地域の皆様の力が欠かせません。買物、犬の散歩、ジョギング、花の水やりなどの日常活動や事業活動を通じて、防犯の視点をもって子供を見守ることを「ながら見守り活動」といいます。

この活動は、いつでも、どこでも、誰でも気軽にできる防犯活動です。気軽に参加してみましょう。登下校時間帯、通学路等に見掛けない車が駐車し人が乗車しているなど、「何か変だな？」と感じたら、迷わず警察に通報してください。



勤務員
榎本 照久

児童の車内への「置き去り」は児童虐待（ネグレクト）です

全国的に駐車場などで車内に置き去りにされた子どもが熱中症で亡くなるという痛ましい事件が後を絶ちません。

車内の温度は、気温の上昇とともに急上昇します。

子どもは体温調節が未熟なこともあり、そのような車内では短時間であっても熱中症になり、命を失う危険性があります。

「眠っているから」、「少しだけ」などと子どもを車内に残したまま、その場を離れることはやめましょう。

子どもを車内に置き去りにすることは児童虐待（ネグレクト）に当たります！！

そのような車を見掛けたら、すぐに警察などに通報しましょう。

また、居宅内でも同様のことが起こる可能性がありますので、十分に注意しましょう！

